

ごあいさつ

当会(神奈川県信用農業協同組合連合会(略称「JA神奈川県信連」))は、昭和23年の設立以来、県内JAとともに「農業の専門金融機関」として農家経営の向上に資するとともに、「地域金融機関」として組合員・利用者のニーズに応え、地域社会の発展に役立つ金融機関を目指した業務展開に努めております。

この度、当会の事業・経営に対する一層のご理解をいただくため、最近の業績や業務内容を取りまとめた「DISCLOSE 2024」(ディスクロージャー誌)を作成いたしました。ご一読いただければ幸いに存じます。

令和5年度は、コロナ禍からの日常化が進むなか、国内の雇用・所得環境に一定の改善が見られました。

一方、世界的なインフレ高進を受け、各国中銀が相次いで金融引き締め策を展開しました。国内においても、日銀がマイナス金利政策の解除・イールドカーブコントロール政策の撤廃に踏み切り、長短金利がともに上昇、為替相場では大幅な円安が進行するなど、金融情勢は大きく変化しております。

先の見通せない不安定な市場環境下でありましたが、現中期経営計画(令和4～6年度)に掲げる5つの基本戦略に役職員一丸となって取り組んだ結果、当会の令和5年度決算については、所期の目標を達成することが出来ました。

今後においても、金融・経済情勢は予測が立たない不安定な推移が見込まれるほか、デジタル化の進展をはじめとした本会事業環境の変化は一層加速していくものと見込まれ、先の見通しづらい経営環境が継続することが予想されます。

こうしたなか、わたしたちの存在意義である「農業と地域の未来を創る」を果たすため、わたしたちは、JAの地域特性・経営状況に即した課題解決型の「機能還元」や、長期的な視点を踏まえた持続安定型の「収益還元」の実現に努め、組合員・利用者・会員JAをはじめとしたステークホルダーの負託に応え続ける所存でございます。

引き続きのご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年7月

